

## ニガウリ (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	べと病	疫病	炭疽病	斑点病	つる枯病	うどんこ病
Zボルドー水	M1		-	-						◎
トップジンM水㊦	1		1	5			◎	◎		
アフエットFL	7		1	3						◎
パレード20FL	7		1	3						◎
アミスター20FL	11		7	3	◎		◎			◎
ストロビーFL	11		7	3	◎					◎
ランマンFL	21		1	2		◎				
トリフミン水	3		1	3						◎
サンヨール乳	M1		1	4						◎
ダコニール1000FL	M5		1	4	◎		◎	◎	◎	◎
ベルコートFL	M7		1	3						◎
モレスタン水	M10		1	4						◎
スミブレード水	10・2		7	2				◎		
ベジセイバーFL	7・M5		1	3						◎
アミスターオープンFL	11・M5		7	3						◎
パンチョTF顆水	3・U6		1	2						◎

㊦：チオファネートメチル含有剤 ◎：ベノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856 参照）。

## ニガウリ (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使用 回数	使用 条件	ア ブ ラ ム シ ミ	コ ナ ジ ム シ	カ メ シ カ メ	タ バ コ カ ス ミ カ メ	ア ザ ミ ウ マ	マ メ ハ モ グ リ バ エ	タ ネ バ エ	ウ リ ノ メ イ ガ	フ キ ノ ウ メ シ ガ	ヨ オ タ ム バ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	ハ ダ ネ ニ 類	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
バイデートL粒	1A	劇	*d	1															◎
ガードホープ液	1B	劇	*e	1															◎
ダイアジノン粒5	1B		*c	2							◎					◎	◎		
ネマキック粒	1B		*d	1															◎
ネマトリンエース粒	1B		*b	1															◎
マラソン乳	1B		1	3	◎														
アデオン乳	3A		1	3	◎	◎	◎						◎	◎					
トレボン乳	3A		1	3	◎	◎	◎	◎				◎	◎						
アクタラ顆溶	4A		7	3	ワ														
アドマイヤー顆水	4A	劇	1	2	施				◎										
アドマイヤー1粒	4A		*a	1		◎													
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		1	2		◎													
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*a	1		◎													
ダントツ溶	4A		1	3	◎				ミ										
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3	◎														
アフーム乳	6		3	2											◎				
コルト顆水	9B		1	3	◎														
チェス顆水	9B		*f	3	◎														
ニッソラン水	10A		1	2															◎
コテツFL	13	劇	1	2					ミ										
カスケード乳	15		1	4					◎	◎		◎							
サンマイトFL	21A	劇	1	2		◎													
ダニトロンFL	21A		3	1															◎
ハチハチ乳	21A	劇	1	2					◎										
フェニックス顆水	28		1	3									◎		ハ				
プレバゾンFL5	28		1	3											ハ				
ウララD F	29		1	2	◎														
ブレオFL	UN		1	2									◎		ハ				
サンヨール乳	-		1	4	◎														◎

\*a:定植時 \*b:播種前又は定植前 \*c:播種時又は定植時 \*d:定植前

\*e:生育期(但し収穫14日前まで) \*f:収穫開始3日前まで

施:施設栽培

ハ:ハスモンヨトウ ミ:ミナミキイロアザミウマ ワ:ワタアブラムシ

## ニガウリ (野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 ストロビーフロアブル● 3000倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
疫病	生育期	・次の薬剤を散布する ランマンフロアブル 1000倍	
うどんこ病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ストロビーフロアブル● 3000倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 パンチョ T F 顆粒水和剤● 2000倍 モレスタン水和剤 2000倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
炭疽病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍	
モザイク病		・アブラムシ類を防除する。	
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤を植穴または株元に土壌混和する。 アドマイヤー 1 粒剤 1~2 g/株	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アデオン乳剤 2000~3000倍 トレボン乳剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍	
タバコカスミカメ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アデオン乳剤 2000~3000倍	
アザミウマ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 2000~4000倍 ハチハチ乳剤△ 1000倍	△薬害を生じるおそれがあるので、幼苗期には使用しない。
ミナミキイロアザミウマ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 コテツフロアブル 2000倍	
ウリノメイガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 2000~4000倍 トレボン乳剤 1000倍	
ネキリムシ類	播種時または定植時	・次の薬剤を施用し、土壌混和する。 ダイアジノン粒剤5 6 kg/10 a	
ハダニ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ダニトロンフロアブル 2000倍 ニッソラン水和剤 2000~3000倍	
ネコブセンチュウ	播種前または定植前	・次の薬剤を全面に施用し、土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 15~20kg/10 a	